



学校だより

平成29年9月29日

横浜市立高田中学校

10月号(第29-07号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

個性×団結＝達成感 ～みんな輝け 高中生～

「歌うことから広まる友情」

副校長 鬼丸 玲子

道ばたに深紅の曼珠沙華が風に揺れ、日に日に秋の深まりを感じられるようになりました。秋試験を終え、生徒たちは、約1ヶ月後に迫った高田祭の準備に力を入れています。

今年度の高田祭は、今までの合唱コンクールと高田祭を合わせて、高田祭合唱の部（10月17日都筑公会堂）と高田祭文化の部（10月19日本校）として開催します。是非、お出かけいただき、日頃の学習や活動の成果をご覧頂きたいと思えます。

音楽の時間でも合唱練習は行っていますが、学活の時間になると、各クラスの熱のこもった歌声が校舎のあちらこちらから響いてきて、演奏が始まる前のオーケストラのチューニングを聞いているようです。

6月の体育祭では、どのクラスもどの学年も、運動の得意不得意を超えたチームワークの素晴らしさ、勝敗を度外視した一生懸命な姿の美しさに深く感動させられました。合唱でもきっと体育祭の時のように、各パートが生み出すチームワークと一生懸命に歌う姿から感動的なハーモニーが響き渡ることでしょう。

もちろん、運動に得意不得意の人がいるように、合唱（音楽）にも得意不得意の人がいると思えます。私は自他共に認める音痴ですが、合唱は聞くのも歌うのも大好きです。何故なら、合唱はひとりではできないからです。

ところで、一人ひとりの声には個性があります。皆さんも電話口で相手が名乗らなくても、相手が誰だか当てることができる場合がありますよね。それこそ声の個性です。でも、合唱のためにはそれぞれ特徴がある歌声を一つのパートに結集する努力をするわけで、大変なことです。相手や周りの音に合わせて団結していくことが必要です。パート練習から全体で合わせていく中で、徐々に合唱が仕上がっていくと、ある時背中がぞくぞくするような合唱が出来上がることがあります。この境地こそが達成感です。

今回の高田祭のスローガン「個性×団結＝達成感」は、こういう合唱の醍醐味を表していると思えます。

そして、私の経験を加えるとすれば、合唱は「歌うことから広まる友情」です。



合唱は、歌わなければ感動も何もモーションが起きないと言うことです。

高田祭まで、あと3週間。みなさん一人ひとりが「個性×団結＝達成感」を合唱の部でも文化の部でも十分に発揮し、輝くことを期待しています。

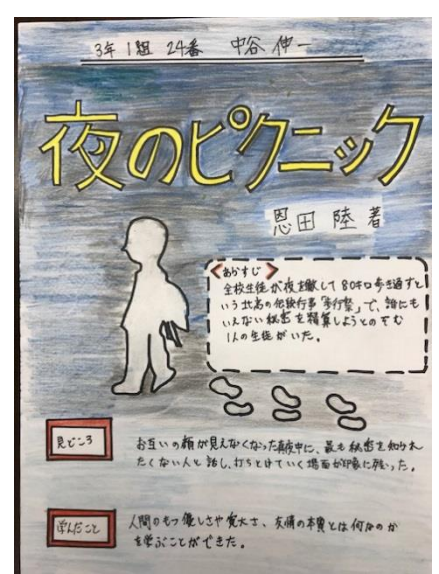
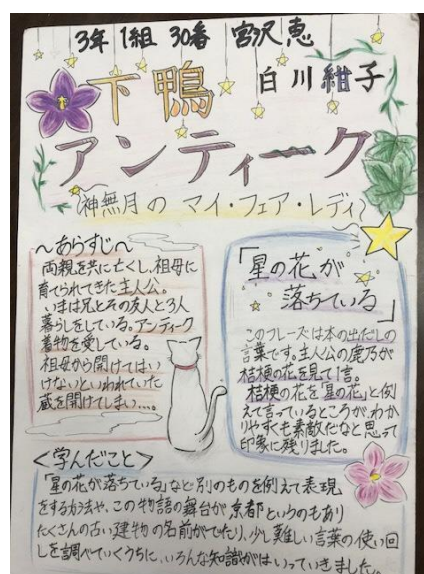
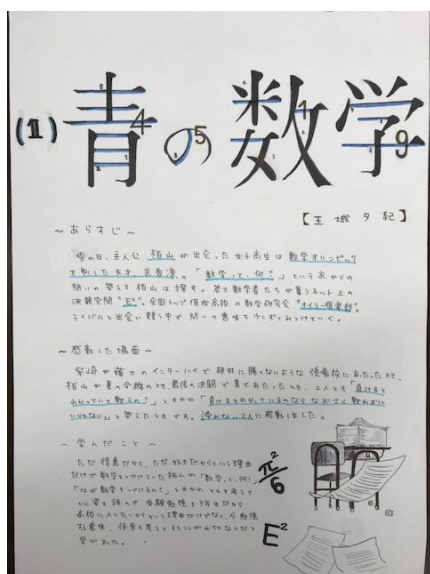
高田の時間

高田中学校では、1年生から3年生までの全員が、月曜日から金曜日までの毎日8時40分から50分まで「高田の時間」と呼ばれる活動を行っています。この活動では、設定された大きなテーマに基づいて本を選び10分間の読書を行います。夏休みには、1学期に読んだ本について、その内容、印象に残ったところ、感じたことや考えたことを整理して、A4サイズ1枚にイラストや文字を使い本の紹介カードを作成します。9月の「高田の時間」に紹介カードをもとにプレゼンテーションを行っています。一日につき二人もしくは三人が発表を行っています。

この活動は、現行の学習指導要領において学力の重要な要素とされている①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③学習意欲、のうちの②の要素を伸ばしていく活動と考えています。情報を収集し、その情報を整理し考え、考えたことを自分の言葉で他の人にわかりやすく伝えることができる力を育むことをねらいとしています。この「高田の時間」で育まれた力は、教科の学習においても活用され、子どもたちの思考・判断・表現力を伸ばしていくことを期待しています。

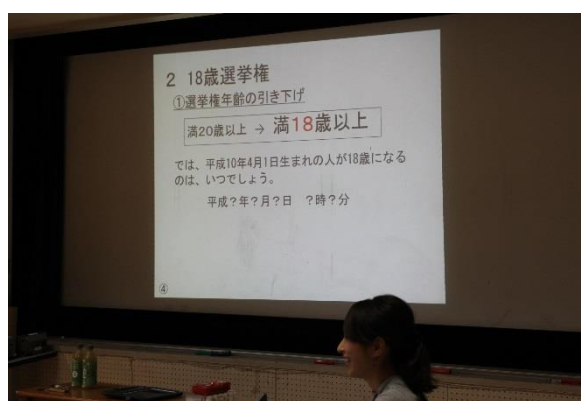
高田中では、今後も「高田の時間」の活動を核として、あらゆる教科で同様の活動を設定し、思考・判断・表現力の育成に取り組んでいきます。

高田祭文化の部の展示発表として、全生徒の作品が展示されますので、是非ご覧ください。下は生徒の作品です。



選挙出前講座

9月20日（水）の放課後、今年度の生徒会役員選挙に立候補している生徒、生徒会本部役員、選挙管理委員を対象に、港北区役所により「選挙」に関する出前講座が実施されました。講師は港北区役所選挙管理委員会の方で、32名の生徒が参加しました。講座の内容は、①選挙って何？、②18歳選挙権、③政治活動と選挙活動、④投票のやり方、⑤主権者教育、⑥振り返りアンケート、というものでした。参加した生徒たちは、真剣に講義に耳を傾け、質問タイムには、①なぜ選挙の投票は体育館で行われるのか。②選挙権が与えられる年齢が18歳になった理由はなにか。③選挙を運営する上で一番大変なことはなにか というような質問が出ました。講座を真剣に聴いているからこそ質問が出たのだと思います。今中学校に在学している生徒も、あと3年から5年で選挙権をもつようになります。国民の大事な権利である選挙権について、しっかりと考え、その権利を行使できるようになってほしいと思います。



2年2組 中根毅一郎さん

僕は選挙管理委員会出張授業に現生徒会本部役員として参加しました。授業では選挙の仕組みや歴史など様々なことを教えていただきました。その中で一番印象に残ったのは投票率についてです。40歳代～60歳代は投票率が高い一方で、20歳代の投票率が全ての世代の中で最も低いのです。そこで区の選挙管理委員会では今回のような授業やポスターを掲示するなど若い世代の投票率を上げるための活動をしているそうです。

後3～5年で選挙権を獲得する自分たちは、今から選挙について知り、18歳以降投票に行くべきだと思います。将来の日本を自分の1票で支えることになるかもしれないという責任もあるんだろうなと思いました。

小学校との授業研究会

9月14日（木）に高田小、高田東小との合同授業研究会が高田小学校を会場に行われました。この授業研究会は併設型小・中学校として指定される以前から

毎年実施されていたものですが、今年度は、中学校の教員が小学校で小学校の先生と共に授業を担当するチームティーチングという形式で実施され、小学3年生の社会科と6年生の算数の授業が行われました。この研究授業に先立ち、6月20日（火）には3校の教科主任が高田中学校に集まり、合同教科主任会が行われ、新学習指導要領を念頭に置きながら、各教科の情報交換を行いました。9月1日（金）には、3校の教員全員が高田小学校に集まり、90人会議が実施されました。この会議では、9月14日の研究授業に向けて、指導案検討を行いました。

14日の研究授業では、3年の社会科を担当した本校 堤先生が、『見つけたよ、まちの人たちの仕事 「発見！ スーパーマーケットのひみつ」』という単元を学級担任の高田小 佐藤先生と共に指導しました。6年の算数を担当した小林先生は、発展コースを担当し、高田小 浦辺先生と中学校での数学の学習とのつながりを児童に意識させながら授業を行いました。授業後には、それぞれ合評会を行い、活発な意見交換がなされました。

前にもお知らせしましたが、今年度から高田中学校、高田小学校、高田東小学校は、市教委より「併設型小・中学校」として指定されました。併設型小・中学校では、地域の特性や児童・生徒の実態に即し、授業時数や教育内容の配列などについて、学習指導要領の枠を柔軟に捉えて教育課程を編成し、学習、生活の両面で9年間一貫した緩やかで確実な教育活動を実現させることを目的としています。今年度は、併設型小・中学校としての取組として、一歩進んだ形で授業研究会を行うことができました。今後も12人会議（3校の校長、副校長、教務主任、研究主任で構成され、併設型小・中学校としての取組を推進していく組織）を中心に、3校合同の学校運営協議会とも連携しながら、併設型小・中学校としての取組を推進していきます。



3年生 美術科 作品

美術室前の廊下に3年生が授業で制作したボックスアートの作品が展示されています。一部の作品を紹介します。

